

ユリ



科 名 … ユリ科
園芸分類 … 耐寒性球根

置き場所

明るい場所を好みますが、強い直射日光、特に夏の西日を嫌います。

夏の間は木陰やカーテン越しに日の当たる窓辺などが最適で、なるべく風通しの良い場所で管理してください。

室外で管理する場合は長雨に当てないように注意して下さい。

蕾がまだ色付いてない場合は良く日に当てて下さい。

水やり

乾燥、過湿に注意。

ユリには球根の下の部分から出る下根のほかに、地中の茎から出る上根があります。

特に上根は養分を吸収する大切な根ですから、この根を傷めると順調な生育は望めません。

上根を傷める原因は鉢土の乾燥と過湿です。

水やりは鉢土の状態をよく見て、表面が乾いてきたらたっぷりと与えてください。

病虫害

アブラムシが媒介するウイルス性の病気になる場合があります。

オルトラン粒剤などを根元にまいて防除してください。

過湿を避け風通しを良くする事で、他の病気も含め、かなり防ぐ事が出来ます。

花後の管理

球根の消耗を防ぐために花ガラ摘みを行います。

花が終わりかけ、花卉全体が黄ばんで観賞価値がなくなったら摘み取ってください。

ウイルス病予防のためハサミは使わず、手で花首から折り取ります。

次に球根を充実させるため追肥を施します（お礼肥）。

緩効性化成肥料または油粕と骨粉の入った配合肥料を株元に置肥するか、カリ分の多い液肥を10日おきに2～3回、水やり代わりに施してください。

秋に葉が黄変したら根元から茎を切り取り球根を掘り上げます。

ユリの球根は乾燥に弱いため茎を取り除いたらすぐに水はけのよい用土に深めに植え付けます（11月頃）。1ヶ月後に元肥として緩効性の化成肥料か油粕と骨粉の入った配合肥料を株元に置肥し、春の出芽後と蕾が見えた頃に同様の肥料を株元に置きます。

ワンポイント

花粉飛散防止のため、開花したらすぐに雄しべの先を摘み取りましょう。

洋服などに花粉が付くと落ちない事があります。また、花びらに付くと、花の傷みが早くなります。